

2026年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

岡村(俊)ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>ゼミのテーマは“情報化を中心としたシステムと人間の関わり合い”です。コンピュータやネットワークを中心としたモノ、社会、システムが人間とどのように関わっているのか明らかにし、快適かつ効率的な(職業)生活をしていこうということです。簡単に言うと、“ICT(情報通信技術)を活用することで、ラクして、いい仕事しよう”となります。</p> <p>ヒット商品や心理学に関して学ぶこともあります。あくまでも(働くことを含めた)人間の生活からの視点で考えていきます。</p> <p>岡村(俊)はICTの専門家でもあります。コンピュータをバリバリやりたいならこのゼミは1つの選択肢となります。一方、「コンピュータは苦手、でもまくなりたい」という学生が選択してもかまいません。どうして苦手なのか、コンピュータのどこが悪いのかを知ることができ、苦手意識を克服することができるかもしれません。ICTに興味がない人はこのゼミには向いていません。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>基本的に“演習1”と“演習2”は“卒業研究”に向けての準備だと考えます。卒業研究は“勉強”ではなく“研究”なので、世の中に役に立つ新しい事実を自ら発見することが望まれます。また、学習と実益を兼ねて、学内あちこちのICT環境改善(パソコンや周辺機器の設定とか)など実践的な活動をやることもあります。</p> <p>ゼミの運営は基本的に学生主体が望ましいところです。学生の運営を教員がサポートする、というのが理想です。状況が許せば、施設見学など授業時間外での活動も、できる限り学生の希望に対応していきたいと考えてます。授業時間外の活動をおこなう場合、学生の任意参加とします。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>就職先、進路、書類の書き方など学生の希望に応じて、できる限りのアドバイスはします。こちらからなにか強制することはありませんが、たまに活動状況に関して確認することはあります。指導や助言はしますが、進路選択・就職活動はあくまでも学生自らの責任において行うものであると考えています。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>ゼミのテーマから大きく外れなければ、内容、字数ともに自由です。動画などのデジタルデータでもかまいません。各自のテーマは演習を進める中で自分で決めていくこととなります。内容によっては複数名での執筆も可とします。内容に応じて、実地調査やアンケート調査、実験なども含めることもあります。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>自分の考えを持つと同時に、その考えを表現する(相手に伝える)ことを望みます。基本的にゼミ生を“自立した人物”として扱います。“自立した人物”になれない、“自立した人物”になろうとしない学生は、最低限の学習しかできないと思ってください。</p>
<p>その他</p>	<p>何か質問があれば、okamura@biz-kpc.netにメールをするか、研究室(2号館1階)を訪ねてください。</p>

2026年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

岡村(雄)ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>ビジネスゲームの研究と制作</p> <p>商学・経済学系の大学における講義や企業の社員研修等でビジネスゲームが活用されています。ペーパータワーはチームビルディングを目的とした研修で活用されています。モノポリーは不動産ビジネスのボードゲームであり、ビジネス系科目の学習ツールとして有用です。これらのゲームは投資意思決定、機会費用等の経済学の基礎概念を学ぶうえでも役に立ちます。</p> <p>とはいえ、ほとんどのゲームはなんらかの学習に活用することを想定して開発されたわけではなく、研修を目的としたゲームも適用範囲は限定的です。たとえば、モノポリーは商業簿記の入門としては有用ですが、工業簿記の学習には不向きです。不動産の売買と賃貸のビジネスは、工業ではないからです。ペーパータワーはコミュニケーション、相互理解には資するとされていますが、その他の学習効果はあまり期待されていません。いずれのゲームも一長一短があるということですが、見方を変えれば、商学・経済学・経営学・法学の学習に資するビジネスゲームの改良・開発の余地があるように思われます。</p> <p>本演習は既存のビジネスゲームの研究からスタートし、商経学科での学びを総動員して、新しいビジネスゲームの制作を目指して活動します。おもしろくて、あきない(商い)ゲームをつくってみませんか。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>学生主体の自発的な運営が望ましいと思っています。本演習の大まかな計画は次の通りです。</p> <p>演習Ⅰ：既存のビジネスゲームの調査・分析 演習Ⅱ：新しいビジネスゲームの制作 卒業研究：ビジネスゲームを活用した学習効果の検証とレポート執筆</p> <p>過去に実施した課外活動として下記のものがありますが、参加は任意であり、成績評価には影響しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定対策の学習会 ・県大祭での模擬店経営 ・合宿、フィールド調査
<p>就職指導の方針</p>	<p>履歴書、エントリーシートの添削、小論文の対策等できるかぎりサポートします。</p>
<p>卒論の要件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの制作意図、概要、検証結果をまとめたレポートを書いてもらいます ・字数制限は設定しません
<p>学生への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことと思っても遠慮なく相談してください ・気持ちの良い挨拶を心がけ、ルールやマナーを大切にしてください ・SNS、サブスクに依存しないでください
<p>その他</p>	<p>本演習に関心のある方は気軽に研究室を訪ねてください。</p>

2026年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

瀬口ゼミ



<p>基本テーマ</p>	<p>私の講義科目である、マーケティング論や経営戦略論が基本テーマになります。マーケティング論では、「売れる商品と売れない商品は何が違うのか」、「ブランド力を高めるためにはどうすれば良いのか」、「海外で行うマーケティングは、日本国内で行うマーケティングと何が違うのか」などについて。経営戦略論では、「企業と企業はどのように競争しているのか」、「ライバル会社に勝つためにはどのような手段があるのか」、「企業の行動は社会に対してどのような影響を与えるのか」などの疑問について考えていきます。</p> <p>これらの疑問は、すぐに答えが出るものではありません。2年生後期の【演習Ⅰ】で基本文献を読み、マーケティング論や経営戦略論の基本的思考と理論枠組みを学びます。そこで得られた知識を、3年生からの【演習Ⅱ】と【卒業研究】のなかで、具体的な商品や企業に応用させていきます。</p> <p>過去の卒業生の多くは、卒論のテーマとして、「ディズニールゾート」、「ユニクロ」、「ポケモン」、「K-POP」、「住宅産業」など、自分が興味を持っている具体的な商品、企業、産業を取り上げました。</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【演習1】では、各自で興味のある本を1冊選択し、そのなかの1～2章分を担当します。皆の興味が一致した場合は、ゼミで共通の本を指定します。自分が担当する部分のテキストを読み、他のメンバーにも理解できるようにレジュメとしてまとめます。そして、そのレジュメを基に、ゼミで報告してもらいます。 ・【演習2】では、卒業論文作成に向けて、テーマの設定や章立て、資料探しなどを行います。 ・【卒業研究】では、卒業論文の執筆がメインになります。各自のテーマに基づき、研究内容や進捗状況などを随時報告してもらいます。 ・過去のゼミでは、学生さんの希望に応じて、学内開放(学祭)への参加、食事会を含むゼミ内親睦会を実施してきました。 <p>ただし、こちらから無理に企画することはありません。皆さんからの希望を聞きながら、あくまでもゼミ生が主体となって計画・実行してもらいます。なお、ゼミの時間以外の活動の参加は任意であり、参加の有無によって成績に差を付けることはありません。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>希望者に対して、企業研究、履歴書の書き方、面接対策などを可能な範囲でお手伝いします。ゼミ以外でも、希望があれば時間を取って、個別に相談に乗るつもりです。</p> <p>また、就職活動に必要なとされる能力(論理的に考える、自分の考えを持つ、自分の考えを相手に分かるように伝える、相手の話を聞く、質問の意図を読み取る、など)は、ゼミ活動のなかでも養成できると考えます。したがって、普段のゼミ活動においても、就職活動直前になって困らないように、前述した能力を身に付けられるよう指導するつもりです。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>卒論のテーマは、私が指導可能な範囲、すなわちマーケティング論やブランド論、経営学、社会学の一部(文化社会学、消費社会論、メディア論等)などに限ります。</p> <p>テーマ設定や書き方などについては、ゼミのなかで丁寧に指導していきますので安心してください。ただし瀬口ゼミでは、余裕をもって完成できるよう、卒論の準備を早目に進めていきます。また、目次や要約を除いた、本文の執筆期限をゼミ内で独自に設けています。</p>
<p>学生への要望</p>	<p>現時点での知識は問いません。また、私の授業の受講経験の有無なども、ゼミ選抜には全く関係ありません。</p> <p>ただし、①欠席する際は必ず事前に連絡し無断欠席をしないこと、②ゼミに関する指導や事務手続きについて、私から連絡があった場合には返信すること、の2点を守って貰いたいと思います。</p>
<p>その他</p>	<p>ゼミについて、ささいなことでも質問があれば、seguchi@k-kentan.ac.jpまで遠慮なくメールしてください。</p> <p>私に直接相談したい場合も、上記のメールアドレスにメールを送ってください。お互いの時間を調整して相談に乗りたいと思います。</p>

2026年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

近間ゼミ	
基本テーマ	<p>テーマ:人口減少下の社会政策と労働問題を考える</p> <p>日本の生産年齢人口(15~64歳)は大幅な減少が見込まれています。そうした社会では、希少性が高まりゆく労働力をいかに有効に活用するかという方向性が模索されています。誰もが望ましい働き方を実現でき、働きがいと高めることができるためにも、既存の制度の見直しや労働環境の改善が求められています。</p> <p>一方で、今日の働き方には過労死や長時間労働、非正規労働者の不安定雇用や低賃金という問題があり、上記の目的の達成には困難が生じています。ゼミでは日本の働き方の特徴、ライフスタイル(家事、子育て、介護など)と働き方の関係性について考えていきたいと思ひます。</p>
ゼミ運営方法	<p>大まかには以下のような流れで進めていきたいと思ひます。</p> <p>演習Ⅰ:ゼミのテーマに関わるテキストを1冊選択し、輪読を行います。</p> <p>演習Ⅱ:卒論の執筆に向けて、各自が関心を持っているテーマに関係する論文を取り上げ、その内容を報告してもらいます。</p> <p>卒業研究:卒論の目次案、概要を報告してもらい、実際に卒論を作成してもらいます。各々の進捗状況に合わせて、適宜アドバイスを行います。</p> <p>ゼミ運営の具体的な方法については、ゼミ生と相談しながら決めていきたいと思ひます。あくまで学生が主体となってゼミが運営されることが望ましいので、参加しやすいやり方についても何かあれば提案してください。</p> <p>また、ゼミ生の希望があれば学内開放での模擬店経営やゼミ合宿などの課外活動を企画したいと思ひます。なお、ゼミの時間以外の活動の参加は任意であり、参加の有無によって成績に差をつけることはありません。</p>
就職指導の方針	<p>希望者には、履歴書の作成や面接練習などを可能な範囲でサポートしていきたいと思ひます。就職活動はゼミのテーマとも密接に関わることでありますので、心配事なども遠慮せず相談してください。</p>
卒論の要件	<p>社会問題を扱うテーマであれば、ゼミで扱うテーマでなくても構いません。テーマについては、ゼミのなかで相談しながら決めていきたいと思ひます。文字数は特に制限はありませんが、過去のゼミ生では10,000~12,000字程度の卒論を作成していました。</p>
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守ってお互いが気持ちよくゼミに参加できるように心掛けていきましょう。 ・欠席する際は必ず事前に連絡をし、無断欠席しないこと。 ・ゼミでは活発な議論ができることを望みます。ただし、どんな発言に対しても相手を誹謗・中傷するようなことはしないことを守ってください。
その他	<p>ゼミについて興味がある方は、いつでも研究室(3号館4階)に来てください。ゼミの雰囲気や過去のゼミ生の卒論テーマなどを紹介したいと思ひます。不在の場合もありますので、メール(chikama@k-kentan.ac.jp)にてアポを取っていただければ確実かと思ひます。もちろん、メールのみでの質問もかまいません。</p>

2026年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

藤野ゼミ

<p>基本テーマ</p>	<p>全国最先端の地域づくりを実践！ VRワールドや地域通貨を使った日置市の地域づくりに直接関わります</p> <p>人口減少が進む現在、地域づくりは限られた人口を奪い合うのではなく、「関係人口（地域と多様に関わる人）の増加」へと大きくシフトしています。実はお隣の日置市は、この関係人口政策で全国の最先端を走る自治体です。</p> <p>今年のゼミは、日置市地域づくり課とタッグを組み、VRワールド（ネオ日置）や地域通貨（まちのコイン）を使った関係人口増加プロジェクトに直接関わります。机上の勉強だけでなく、まずは私たち自身が日置市の関係人口となり、最先端の政策を体験しながら学びます。日置市の職員さんなど外部の方と協働するため、ゼミ活動では最後までやり遂げる「責任感」が必要です。また、結果ではなく、チームで試行錯誤したプロセスと一生懸命に取り組む姿勢を大切にします。</p> <p>将来、公務員を目指す方はもちろん、民間企業の企画系・IT系志望の方にも、就活の履歴書（ガクチカ）に直結するような超・実践的な学びができます。リアルな現場で、将来につながるワクワクする経験を積みたい皆さんをお待ちしています！</p>
<p>ゼミ運営方法</p>	<p>【演習Ⅰ・Ⅱ】以下の内容ですすめます（卒業研究の内容は「卒論の要件」参照）。</p> <p>① 本を読んで知識を入れる まず、関係人口関連政策に関する書籍を読みます。少し内容が難しいので、理解することが苦にならないように、グループで取り組むなど工夫して読み込みます。</p> <p>② VR空間での活動（マイクラフトのような世界でのゼミ活動） 日置市からゼミに長期貸与されたVRゴーグル（MetaQuest）12台を使ってVRワールド「ネオ日置」にアクセスし、ネオ日置上で打ち合わせをしたり、ネオ日置を利用した関係人口増加のための仕掛けづくりをします。また、ゼミ独自のVRワールド建設作業も行います。マイクラフトの世界で打ち合わせをしたり、街を創り上げていくようなイメージです！IT系のスキルがなくても、ゴーグルの設定から丁寧に教えるので初心者も大歓迎です！</p> <p>③ 行政の最前線！日置市職員との協働 実際に関係人口政策を進めている日置市地域づくり課の職員さんや地域おこし協力隊の方と一緒にプロジェクトを進めます。行政の最前線にふれながら一緒に進めていくため、公務員を目指す学生にとっては最高の実践の場になります。</p> <p>④ 要望によりレクリエーション等の企画もします 要望によりゼミ合宿等のレクリエーションも企画します。ちなみに第一部では福岡へのゼミ合宿をしています。そのあたりはみなさんの主体性にお任せします。</p>
<p>就職指導の方針</p>	<p>ゼミで一生懸命活動したことが、そのまま就活の強力な武器になるよう設計しています。履歴書添削、小論文や面接対策など、一人ひとりの希望に寄り添い手厚くサポートします。編入については、鹿大であれば法文（地域社会・法学）は対応可です。資格についてはFP、宅建士、行政書士は指導可能ですが、個別指導しますので事前に相談してください。</p>
<p>卒論の要件</p>	<p>ゼミ生全員で一つの「ゼミ活動報告書」を作り上げます。VR上で「どんな企画」を「どう実践し」、直面した「課題」を「どう解決したか（解決すべきか）」を、みんなで資料収集や話し合いをしながら分担してまとめます（内容によりますが、個人執筆も可能です）。</p>
<p>学生への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりや、ボランティア活動が好きな学生の参加歓迎。 ・外部の方とプロジェクトを進めるので、責任感は必須です。 ・授業外での活動が他のゼミよりも多いと思いますので、心づもりをしておいてください。
<p>その他</p>	<p>「こんなゼミ入るんじゃなかった！」ってことにならないように、必ず研究室訪問をお願いします。授業後など学内で見かけた時に声をかけてくれる感じでも大丈夫です。取り込み中でなければいつでも対応しますが、メール（fujino@k-kentan.ac.jp）で予約していただくと確実です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>ネオ日置についてはこちら→</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゼミ活動についてはこちら→</p>  </div> </div>

2026年度 第二部商経学科ゼミ募集要項

船津ゼミ	
基本テーマ	<p>コミュニケーション能力、経済学に関する体系的知識、経済・社会に対する洞察力、プレゼン能力の習得・向上を目指します。これらは、一般企業、公務員といった就職活動全般や進学に有意義であるだけでなく、卒業後、社会人として様々な活動をする上での地力になると考えます。</p>
ゼミ運営方法	<p>基本テーマで書いたことを実現するために、本を読めるようになること(一文、一文を正確に理解すると同時に、文章全体の構成・内容を的確に把握し、その文章に示されている定義、結論に至るまでの根拠と論理を検証できるようになること)と議論できるようになることを特に重視して運営し、具体的な方法は初回にゼミ生全員で話し合っ決めてみたいと思います。そして、1年半単位ではなく、半期ごとに成果が実感できるゼミを目指します。</p> <p>選択肢としては、1つには、話し合っ決めた共通の本を読みつつ、報告者が担当部分を報告し、みんなで議論する、2つめに、ゼミ生がそれぞれ自分で本を選び難しすぎたり、簡単すぎたりしないよう、僕が相談に乗ります)、その本の一部(1章が目安)について報告者が報告し、みんなで議論する、3つめに、第一部のゼミと同じように、伊藤元重『マクロ経済学 第3版』日本評論社をテキストに輪読を行ってマクロ経済学の基礎を身につけるといったことが挙げられます。ここのところは、公務員志望者、社会人、進学希望者が比較的多く、その意向もあって、3つめが選ばれました。</p> <p>マクロ経済学を候補にしている理由は、公務員志望者、進学希望者、金融関連等への就職希望者だけでなく、どのような道に進んでも有用なことに加えて、商経学科には「経済学」の後、マクロ経済学やミクロ経済学についてさらに学べる科目が開設されておらず、学生の皆さんが独力で学習せざるを得ないからです。独力では、説明を受けてみれば簡単に理解できるところでもつまづきがちで(だからこそ大学の授業は意義がある訳です)、マクロ経済学についてさらに学びたいという声がよく上がりますし、私は非常勤講師として鹿児島国際大学でマクロ経済学Ⅰの講義を担当していますので、ゼミの主要なテーマにふさわしいもの1つと考えます。</p> <p>あと、1~3のどれになっても、議論する力や経済・社会に対する洞察力を向上させるために不定期的にディベートか新聞や海外通信社の記事等を元にした議論を行うことも提案する予定です。</p>
就職指導の方針	<p>ゼミ生の要望に応える形で指導します。こちらから、あれをしなさい、これをしなさいといった指示を出すことはありません。</p> <p>具体的には、履歴書を書く時に相談に乗ったり、添削したり、面接の練習相手をしてアドバイスしたり、進学志望のゼミ生には、志望大学に合った勉強方法についてアドバイスしたり、勉強会で解説や質問に答えたりといったことをしてきました。</p> <p>二部ゼミで2年次に地方公務員試験に合格し、その後、公務員として勤務しながら学んで卒業した先輩が、面接や履歴書対策の資料を残してくれていますので、それも活用してもらおうと思っています。</p>
卒論の要件	<p>分量としては、400字×20枚以上が一応の目安です。テーマは、経済・社会に関することであれば基本的に自由です。</p> <p>過去の卒論のテーマには、地方財政(鹿児島県の財政分析、鹿児島県内の市町村の財政調整基金の動向の分析)、鹿児島県内の市町村合併(薩摩川内市、南九州市等)、地域経済の活性化(出水市の企業誘致、「さんふらわあ」の影響、天文館の活性化、鹿児島県の茶産業、鹿児島県と宮崎県の畜産業の比較等)、雇用・労働(アルバイト雇用、派遣労働、高齢者雇用、外国人労働者、女性の就業率、奄美市の雇用、中小企業のジョブ型雇用導入)、観光(鹿児島県と熊本県や福岡県との比較、霧島等のジオパークの比較、出水市の観光戦略等)、地域防災(鹿児島市と宮崎市の比較、建設発生土問題)、テレビCMと企業の売上との関係性、企業の経営分析(路線バス、ブランド戦略、コンビニ間の比較、ユニクロの分析、楽天とアマゾンの比較、東宝と東映の比較)、スポーツ(日本のプロ野球球団、野球の独立リーグ、日本女子サッカーの分析、鹿児島ユナイテッドFC等)、NPOと行政の協働、ロンドンオリンピックから見る東京オリンピック、太陽光発電の現状と課題、ブロック経済政策の歴史等がありました。</p> <p>ゼミ全体やゼミの中での数人のグループで共通のテーマに取り組むことも考えられます(過去には2人で協力してアンケートを取って保育士・幼稚園教諭の人材確保と処遇改善に関する連名の卒論を書いた先輩もいます)。</p>
学生への要望	<p>現在の知識の量、勉強や読書の得意・不得意といったことは一切問いません。</p> <p>ゼミの議論では積極的に発言してもらいたいと思いますが、良いこと、感心してもらえようことを言うとする必要は全くありません。しゃべることが得意でなくても構いませんから、自分が感じたこと、考えたことを素直に、出来るだけ分かりやすく伝えようとしてもらえれば十分ですし、そうしやすいうちにゼミを運営するつもりです。</p> <p>毎回のゼミでのそうした積み重ねが、コミュニケーション能力やプレゼン能力、議論する力の向上に必ずつながっていきます。</p>
その他	<p>私に実際に会ったり、話してゼミ選択の判断材料にしたいという方は遠慮なく声をかけてください。他の仕事等と重なる可能性もありますので、前日の午後9時までにメールでアポイントメントをとってもらおうと確実だと思います。数人一緒でも大丈夫です。来室時には軽くノックして、「〇〇(自分の名前)です」と呼びかけてもらえると助かります。</p>